

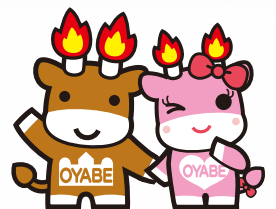


くりから てくてく MAP

倶利伽羅県定公園



撮って歩いて、
いにしえ街道。



小矢部市シンボルキャラクター
メルギューくん メルももちゃん

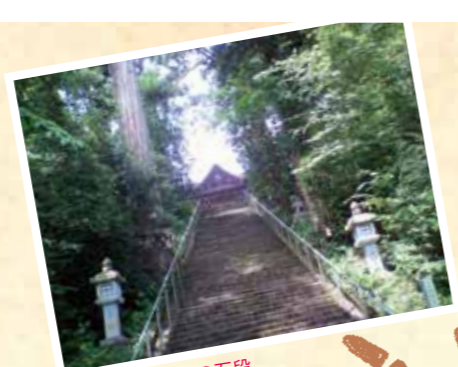
富山県 小矢部市



2015年春 北陸新幹線開業



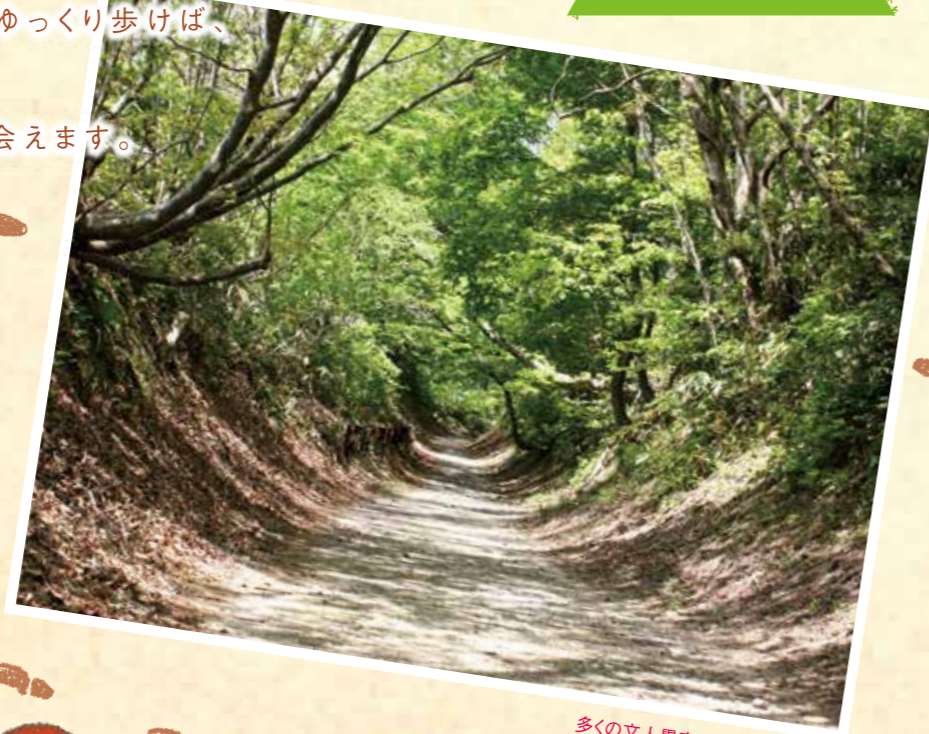
歴史国道イベント



埴生護国八幡宮の石段

歴史の足音が、聞こえてくる。

いくつもの歴史を見つめてきた木々が、桜、新緑、紅葉と姿を変える"いにしえ街道"。野鳥のさえずりを聞きながら、ゆっくり歩けば、記憶に残したくなる瞬間、誰かに教えたくなる名所に出会えます。



多くの文人墨客が通った旧北陸道



八重桜と火牛の像



紅葉の源平ライン



歴史国道



たるみの茶屋跡



昭和の花咲かじいさん

春の俱利伽羅県定公園といえば、なんといっても見事な八重桜。植樹したのは"昭和の花咲かじいさん"と呼ばれた高木勝己さん。高木さんは俱利伽羅峠で車もろとも崖下に転落するという事故にあったのですが、奇跡的にケガもなく助かり、不動さんのお守りだけが真っ二つに割れていたそうです。その後、3夜連続で夢枕に不動明王が現れ「俱利伽羅峠に人々が訪れるようにしてほしい」と告げられました。無事だった恩返しに始めた八重桜の植樹は亡くなるまで続けられ、今では約6000本の桜が山全体を桃色に染めています。

源平歴史ロマン



〜つゆもどきが夢のおと〜
俱利伽羅古戦場

源平俱利伽羅合戦図屏風(石川県津幡町竹橋・俱利伽羅神社蔵)



響き渡る義仲軍関(とき)の声

寿永2年(1183)5月、信濃国で兵を挙げた木曾義仲と、それを迎え撃つため北上した平維盛が砺波山において俱利伽羅合戦を繰り広げました。このとき義仲は、埴生八幡宮に戦勝祈願文を奉納し、夜陰に乗り、関の声をあげ五百頭の牛の角に燃えさかる松明をつけ平家めがけて突入。不意をつかれた平家の軍勢は、あわてふためぎ、一万八千余騎が十余丈の俱利伽羅谷へなだれのように落ち込んでいきました。これが世に名高い奇襲作戦「火牛(かぎゅう)の計」です。

火牛の像

猿ヶ馬場のすぐ近くに、2頭の火牛の像があります。角に松明をつけた牛が今にも突進しようとする姿は、源平合戦の情景が目に浮かぶよう。



埴生護国八幡宮に現存する義仲の戦勝祈願文は必見!



源義仲騎馬像

昭和58年に源平俱利伽羅合戦800年記念として建立されました。像の重量だけで5トンもあり、馬上の人物像としては日本最大級を誇ります。

源平供養塔



高さ6.8mの五輪塔。合戦において犠牲となった源平両軍の兵士の霊を弔うため、昭和49年に建立され、毎年5月12日に追悼法要が営まれています。

葵塚・巴塚



巴、葵は義仲とともに戦った勇猛な女武者。葵は砺波山で討死しました。巴は色白・美麗、また騎馬乗り・弓矢の達人で、一人当千の活躍をしたといわれています。

義仲と巴・葵



義仲と巴の物語はオーディオドラマをチェック!

<http://www.yoshinaka.info/> 木曾義仲と巴の情報が満載! 義仲の波瀾万丈な人生を描いたオーディオドラマ「猛将 木曾義仲〜乱世に開いた希望の花〜」も試聴できます。



倶利伽羅不動寺

由来
富山県小矢部市と石川県津幡町との県境に位置する日本三不動の一つ。奈良時代初期の養老2年(718)に、中国から渡来したインドの高僧・善無畏三蔵(達磨大師の弟子で真言七祖の一人)が北陸路巡錫の際、砺波山山中に棲み村人や旅人に災いをかける魔物を倶利伽羅竜王を勧請して退治し、その不動明王を祀りました。このことからこの地を倶利伽羅と呼ぶようになりました。

八重桜
倶利伽羅不動寺に通じる道路の両脇に6000本余りの八重桜並木が続きます。毎年ゴールデンウィークの頃になると、花が満開となり、連日観光客で賑わいます。
問・倶利伽羅不動寺 ☎076-288-1828



ピンクのじゅうたん

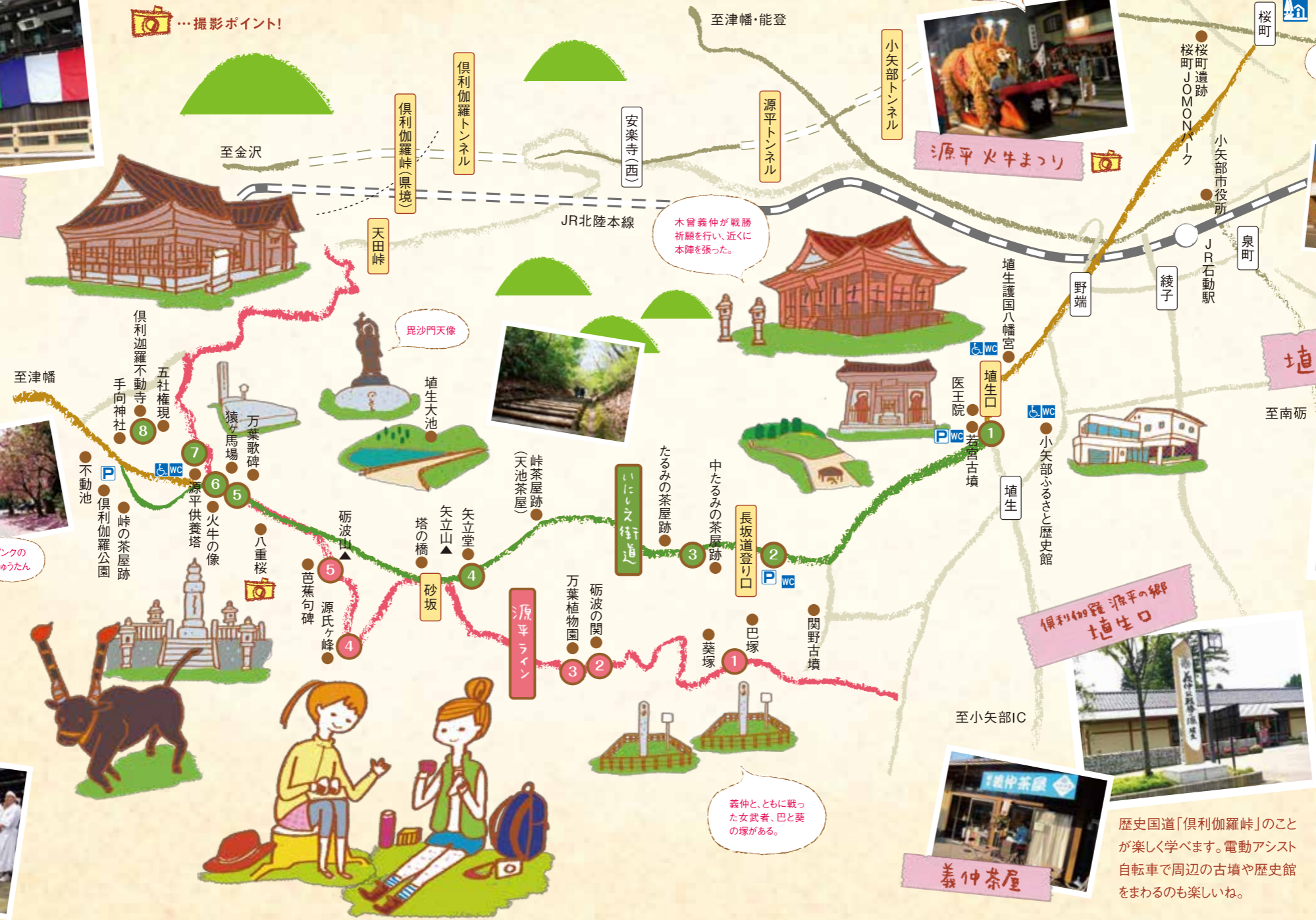
厄除け 念仏赤餅つき

倶利伽羅峠を通る旅人に悪さをする猿に困った和尚さんが、夢枕のお告げに従って、念仏を唱えながら餅をつき、赤く染めて猿に与えたと、猿は悪さをしなくなったと伝えられています。
倶利伽羅不動寺では、毎年4月28日、29日に、白装束に身を包んだ若者らがついた赤餅が、参拝者にふるまわれます。



倶利伽羅県定公園と周辺MAP

…撮影ポイント!



道の駅で ちょっとひといき

メルヘンおやべ
小矢部産のバラにうっとり

スイーツもいろいろ

地元で採れた野菜や地域の特産品を販売。電動アシスト自転車(無料レンタル)で稲葉山や宮島峡などの自然を満喫しよう。バラを浮かべた足湯で疲れが癒されます。
問・道の駅メルヘンおやべ ☎0766-68-3811



埴生護国八幡宮

社殿
木曾義仲が戦勝を祈願したことで有名。約1300年の歴史を持ち、国の重要文化財に指定されています。本殿は素木造りで安土桃山時代の特徴を現し、釣殿等には江戸初期の様式が残されています。加賀藩前田家の寄進により手厚く保護されてきました。また、社殿に向かって左横の宝物殿には、歴史上貴重な数々の古文書などが納められています。

鳩清水
とやまの名水の一つ。青銅龍の口から勢よく御手洗に注がれています。この清水は、約800年前の倶利伽羅合戦の折、義仲軍が鳩の案内で得たという「鳩清水」の滝を水源にしています。
問・埴生護国八幡宮 ☎0766-67-1220

～ 源平合戦の史跡を訪ねて旧北陸道をゆくハイキングコース～
その昔、参勤交代に使われた道や源平合戦の跡地をゆったり散策気分ですべて歩いてみませんか。

- 8 倶利伽羅不動寺
- 7 源平供養塔
- 6 火牛の像
- 5 猿ヶ馬場
- 4 矢立山
- 3 中たるみの茶屋跡
- 2 長坂道登り口
- 1 埴生口

ハイキングコース 歴史国道いにしえ街道

～ 天田峠から猿ヶ馬場、さらに石坂までの全長約4.5キロのドライブコース～
万葉の時代より多くの歌人達が詠んだ歌碑や史跡に出会い、また四季それぞれに移り変わる美しい自然と触れ合うことができます。

- 5 芭蕉句碑
- 4 源氏ヶ峰
- 3 万葉植物園
- 2 砺波の関
- 1 巴塚・葵塚

ドライブコース 源平ライン

芭蕉が「奥の細道」の旅すがら、源平合戦を偲んで詠んだ句が記されています。
義仲の寝覚めの山が月悲し

もともとは平家方の陣地だったところを奪ったことから源氏ヶ峰と呼ばれるようになった。
歴史に名高い倶利伽羅合戦の古戦場。地獄谷に面した急斜面が火牛の計の舞台と伝えられています。

「砺波の関」のそばにあり、万葉集の中から大伴家持らが花木の心を歌った長唄、短歌を刻んだ歌碑と万葉植物が植えられています。

和銅年間、越の三関の一つとして北陸要衝の地、砺波山の付近にあったといわれ、昭和53年に整備されました。大伴家持が都よりの最高峰をもてなして詠んだ歌碑が建てられています。焼太刀を 砺波の関に 明日よりは 守部遣り添へ 君を留めむ(万葉集)

くりからイベントカレンダー

倶利伽羅さん八重桜まつり

4月28日～5月5日 倶利伽羅峠



春には約6000本の八重桜が咲き誇ります。4月28日、29日には倶利伽羅不動寺で厄除け念仏赤餅つきが行われ、大勢の人で賑わいます。

歴史国道イベント

4月下旬 埴生護国八幡宮～倶利伽羅峠



倶利伽羅峠で源氏と平家とに分かれて大綱引き合戦が繰り広げられます。また、観光ボランティアの解説を聞きながら歴史国道を散策して、源平合戦や戦国時代に想いを馳せます。

源平火牛まつり

7月下旬 小矢部市内一円



倶利伽羅合戦で、木曾義仲が用いた戦法をモチーフにした「火牛の計レース」が目玉のイベントです。わらで作った大きな火牛がまちの中を疾走する様は迫力満点!

宮めぐりの神事

9月中旬 埴生護国八幡宮



倶利伽羅合戦で勝利した木曾義仲のお礼参りの様子を再現したもので、氏子の長老、男児、武者姿の若者らが隊列を組み埴生護国八幡宮の拝殿縁を7回半まわるという、古式ゆかしき神事です。

アクセス

●飛行機で

小松空港	約1時間	東京	約1時間	富山空港
	約1時間30分	札幌	約1時間20分	
	約1時間15分	福岡		
	約1時間	仙台		

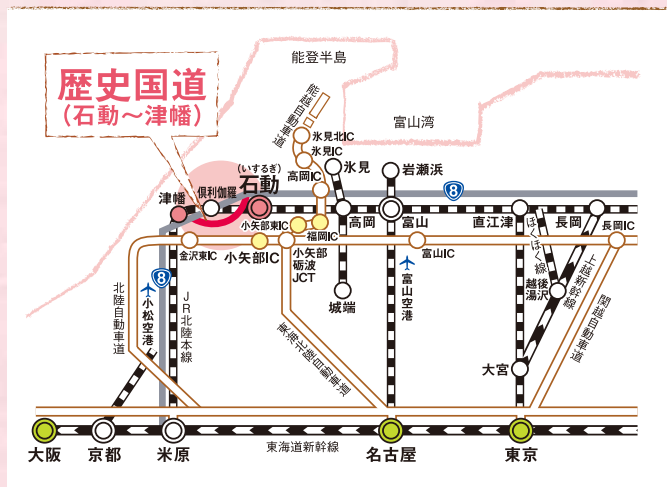
*小松・富山空港より北陸自動車道「小矢部IC」まで約40分

●高速道路で

東京	約3時間	長岡	約2時間30分	北陸自動車道小矢部IC
名古屋	約2時間30分			
大阪	約1時間	米原	約2時間	
	約1時間30分		約2時間	

●JRで

東京	約4時間	JR石動駅
	上越新幹線と特急	
名古屋	約3時間30分	
大阪	約3時間20分	



●最寄りのタクシー

石動タクシー ☎0766-67-1133	小矢部交通 ☎0766-67-1212	津沢タクシー ☎0766-61-2045
-------------------------	------------------------	-------------------------

お問合せ

小矢部市観光振興課

〒932-8611 富山県小矢部市本町1番1号
TEL.0766-67-1760 FAX.0766-67-1567
E-mail kankou@city.oyabe.toyama.jp
<http://www.city.oyabe.toyama.jp/>

小矢部市観光協会

〒932-8611 富山県小矢部市本町1番1号
TEL.0766-30-2266 FAX.0766-67-1567

●石動駅観光案内所 義仲・巴ナビステーション
TEL.0766-68-1062(午前10時～午後6時 休/月曜日)

<http://oyabe.info/>

小矢部市観光協会

検索